

〔長崎市理財部資産経営室からのお知らせです〕

公共施設の将来のあり方を考える市民対話《片淵・長崎・桜馬場中学校区》

第2回 開催報告



ご参加いただいた皆さま
ありがとうございました。

日時 令和元年12月15日(日) 19:00~21:00

場所 男女共同参画推進センター 研修室

参加者 地域の皆さん 25人



1 第2回目までに話し合ってきた内容

第1回

(11/17)

①長崎市の**公共施設の現状**（利用状況や老朽化の状況など）や**見直しの必要性**、**市全体の施設の配置の考え方**についてご説明しました。

②片淵・長崎・桜馬場中学校区の将来を考えるうえで、**地区にある公共施設の課題や問題点**について話し合いました。

第2回

(12/15)

①片淵・長崎・桜馬場中学校区にある**施設の配置の考え方**をご説明しました。

②市がご説明した**配置の考え方**に対して、**意見・アイデア**がないか、話し合いました。

③皆さんからご質問・ご意見をいただく形で、**意見交換**を行いました。



2 片淵・長崎・桜馬場中学校区にある施設の配置の考え方

（市からの説明）と皆さんからのご意見・ご提案への市からの回答

市民活動等施設

✿それぞれに拠点が必要ですので、市内中心部の交通アクセスなどの利便性が高い立地に配置します。



市民活動センター
ランタナ

（参加者）
主な意見

- ランタナはどういう施設なのか？利用したことがない。
- ランタナのコストが多くかかっているため、勿体ないと思う。
- 市民協働について、市の職員を置いて実施する必要があるのか。

○ランタナとは…様々な分野の市民活動団体、非営利で公益的な活動をしている方々、また、今後活動を考えられておられる方々のための交流拠点施設です。

○平成30年度から指定管理者制度を導入し、施設の管理について、現在は民間団体が運営をしています。

（市）
お答え



男女共同参画推進センター
アマランス

2 片淵・長崎・桜馬場中学校区にある施設の配置の考え方と 皆さんからのご意見・ご提案への市からの回答（つづき）

コミュニティ活動施設

地域の皆さんが身近にふれあい、さまざまな活動を行っていく場所として、気軽に立ち寄ることができる地域コミュニティ活動の場はこれからも必要です。

今後は、ふれあいセンターや地区公民館などに加え、特定の年齢層を利用対象とした老人憩の家や児童館・児童センターなどの施設も、将来的に、多世代が利用できる施設へ利用方法や機能を見直し、身近な場所で、地域の子どもから高齢者までの多世代が活動する場を維持していきます。



中央公民館



老人憩の家さくら荘



上長崎地区
ふれあいセンター



桜馬場地区
ふれあいセンター

❁中央公民館は、地域の皆さんをはじめ、市内全域の方にもさまざまなコミュニティ活動に利用していただく施設として、現在の施設を引き続き適正に管理していきます。

❁さくら荘は、老朽化しているため、使い続けるには大きな費用がかかってしまいます。そこで、コミュニティ活動の場としての機能は、地区内にある他のコミュニティ活動施設への集約を検討し、入浴機能については利用者の身体状況に応じて代替策を講じていくことで、将来的には機能を廃止したいと考えています。

❁各ふれあいセンターは、地域の皆さんがさまざまな地域活動に利用できる施設として、現在の施設をこれからも活用していただきたいと考えています。

(参加者)

主な意見

●長崎中学校区にふれあいセンターがないため、施設を造ることと合わせて行きやすくなるように交通手段も検討すべき。



○ふれあいセンターは中学校区で、公立公民館がない地区に整備していますが、長崎中学校区にはその役割を担う施設として中央公民館を位置付けておりますので、施設整備の予定はありません。

○しかしながら、坂や階段が多い地区であることは認識しており、今後、行きやすさを考慮したいと考えています。

(市)
お答え

グループでの話し合いの様子





伊良林小学校



上長崎小学校



諏訪小学校



桜町小学校



西坂小学校



片淵中学校



長崎中学校



桜馬場中学校



(参加者)

主な意見

- 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、ふれあいセンターの複合化が出来ないものか。また、小中学校の併設でコスト削減が望めると思う。
- 統廃合により、通学距離が遠くなったりするが、通学の負担はどうするのか？
- 統廃合後の学校跡地の活用方法をどうするのか？



(市)

お答え

- 複合化や併設については、さまざまな課題がありますが、柔軟なアイデアをいただきましたので、関係機関との連携を強めるなどして、検討していきたいと思えます。
- 市内小中学校への通学については、一定の距離以上は通学費の補助制度がありますので、教育委員会へお問い合わせください。
- 学校跡地の活用方法については、行政として活用していく方策について検討し、活用見込みがない場合には、売却や貸付を行うこととしています。また、民間事業者から広く意見・提案を求め、対話を通じて市場性等を把握するサウンディング型市場調査も適宜実施することとしています。

放課後児童クラブ

※学校施設や敷地、市有地を活用して設置されている放課後児童クラブを記載

放課後児童クラブは、子どもたちの放課後等における安全・安心な居場所の確保を図るために、小学校区ごとに設置されています。

基本的には、小学校の適正配置と合わせて、事業者に運営の統合を働きかけていきます。



ゆうかり児童クラブ
(伊良林小)



SAKURA・LA・HOUSE
(上長崎小)



西坂クラブ
(西坂小)



グループでの話し合いの様子



2 片淵・長崎・桜馬場中学校区にある施設の配置の考え方と 皆さんからのご意見・ご提案への市からの回答（つづき）

スポーツ施設

スポーツ施設は、生涯にわたってスポーツに関わることで、長崎市にお住いの皆さんが健康で豊かな生活を送ることができ、また、競技力の向上を図ることで、地元選手が活躍できるよう、その活動の場として、重要な役割を担っています。

市民体育館



外観



競技場



軽スポーツ室

❁市民体育館は、地域の皆さんをはじめ、市内全域の方を対象とした大規模大会利用施設として、現在の施設を引き続き適正に管理していきます。

❁諏訪体育館は、現在の施設を引き続き適正に管理していきますが、建替えの際は、施設の規模・機能の見直しを含め、市民体育館との集約を検討します。

諏訪体育館



外観



柔道場



弓道場



(参加者)

主な意見

- 市民文化ホール使用時(コンサート、音楽会、講演会等)には、バスケットボール等での体育館利用ができないため、独立した体育館を建設してほしい。
- スポーツ施設数はあるが、補修をしていないため老朽化しており、使えない状態が多い。

(市)

お答え

- 市民会館は構造上、体育館の音が文化ホールに響く状況であり、文化ホール利用者が音抑えのために体育館を予約することが多く、利用制限がかかる場合があり、使い勝手が悪い点があると認識しています。
- 現時点で新たな体育館を建設することは困難ですが、市民会館の建替え時には、使い勝手を考慮した形での整備を検討したいと考えています。
- 改修が必要な施設については、不具合の程度や改修の優先度等を考慮したうえで、今後、中長期的な計画を立てて改修を行っていくこととしています。

図書館



市立図書館

市立図書館と長崎市の各地区のコミュニティ施設等の図書室は、ネットワークで繋がれており、希望の場所で本の受取りや返却が可能です。また、長崎市にお住いの皆さんが身近な場所で図書館サービスを利用できる体制が整っていますので、その中核となる市立図書館は市内に1か所配置しています。

❁市立図書館は、市民に対し、適切な情報発信、積極的な行政サービスを提供するための中核となる施設のため、現在の施設を引き続き適正に管理していきます。

保健施設



夜間急患センター

医療の空白時間帯である休日・夜間や年末年始の診療サービスなど、長崎市にお住いの皆さんの健康を維持する必要がありますので、市内中心部に1か所配置しています。

❁夜間急患センターは、休日・夜間において、軽症の患者を対象に初期救急を担う施設であり、機能を維持する必要がありますので、現在の施設を引き続き適正に管理していきます。



認定こども園
長崎幼稚園



中央保育所



伊良林保育所

❁認定こども園長崎幼稚園については、「公的幼児教育・保育の確保」及び「行政による一定の関与の確保」が必要と考えていますので、交通の利便性の高い市内中心部にある現在の施設を引き続き適正に管理していきます。

❁中央保育所及び伊良林保育所は、今後、課題等を整理しながら、民間移譲を進めていくこととしています。

子育て関連施設



上長崎地区子育て支援センター
「もりのクレヨン」

長崎市にお住まいの保護者の皆さんが、子育て中に感じられる、孤独感や不安感の軽減を図ることを目的に、気軽に集まって、相談や交流等が出来る場所として、長崎市では子育て支援センターの設置を進めています。

長崎市子ども・子育て支援事業計画に基づいて、市内16区域に子育て支援センターを設置する考えです。

❁上長崎地区子育て支援センター「もりのクレヨン」は、片淵・長崎・桜馬場地区の子育て支援センターとして配置しており、現在の施設を引き続き適正に管理していきます。

博物館等



長崎歴史文化博物館



サントドミンゴ
教会跡資料館



シーボルト記念館

博物館等は、教育の振興や学術・文化の発展のために設置していますが、老朽化等により設置当初の機能を果たせていなかったり、展示物の移転・集約が可能な施設もあり、長崎市全体として、見直しを図ることとしています。

❁長崎歴史文化博物館、サントドミンゴ教会跡資料館、シーボルト記念館は、歴史上ゆかりのある現在の場所で施設を引き続き適正に管理していきます。

(参加者)

主な意見

●市内にある博物館等の維持管理費・運営費を合計すると多くかかっている気がするため、長崎歴史文化博物館に機能を集約してはどうか。

(市)

お答え

○市内の博物館等は、現在の場所にあることに意味がある施設が多く、費用削減のためだけに機能を集約するのは適当でないと判断しておりますが、展示物の移転や集約の可能性については、全体的に検討していく考えです。

ホール型施設



市民会館文化ホール



市民生活プラザホール(借上)

ホール型施設は、長崎市にお住まいの皆さんが利用する施設として、公共交通機関の便がよく、市内全域から利用しやすい場所に配置しています。

❁市民会館文化ホールは、市民の文化活動や交流の場として引き続き配置し、現在の施設をこれからも活用していただきたいと思っております。

❁市民生活プラザホール(借上)は、展示会、発表会、講演会、会議等で使用されており、市民ニーズは高いため、機能は引き続き維持していきます。

2 片淵・長崎・桜馬場中学校区にある施設の配置の考え方と 皆さんからのご意見・ご提案への市からの回答（つづき）

市営駐車場 市営二輪車等駐車場

市営駐車場が、大型公共施設や観光施設に隣接して適正に配置され、2040年の駐車需要を充足させることで、道路交通の円滑化及び安全で快適な都市環境の形成を図ります。

❖普通駐車場は、公共施設等の利用者の利便性確保のために必要であることや、安定した収入も見込まれることから、当面は現施設を維持していきますが、供給は確保されることから、一部の駐車場については、必要性がなくなれば廃止します。

❖二輪車等駐車場は、市内中心部において不足しており、今後の保有台数の減少を考慮しても、不足することが想定されることから、現在の施設をこれからも適正に管理していく考えです。



この地区には、市営二輪車等
駐車場を11箇所に設置してい
ます。



桜町駐車場



市民会館
地下駐車場

市営住宅

今後、人口や世帯数が減少し、市営住宅の需要は減ると予想されます。そのため、市営住宅は皆さんの最低限の安全な暮らしを守る役割を担いながら、将来的には市全体の市営住宅の総戸数を減らしていく方針です。

❖本河内住宅は、規模を縮小して建替えを完了しており、現在、駐車場の整備などの外構工事を行っています。
今後は、建物を引き続き適正に管理していきます。



本河内住宅

商業施設

❖市設小売市場は、民間の流通機能の発達により、公設市場の必要性は低くなっていますので、施設の活用を促進できるよう公設市場としての位置付けを見直す方向で課題を整理し、関係者との協議を進めていくこととしています。

市設中央小売市場(借上)



庁舎等

身近な手続き相談ができ、地域のまちづくりを支援する機能は引き続き必要と考えています。

(参加者)
主な意見

●消費者センターは市と県にそれぞれ設置してあるが、機能が重複しているのではないかと？

(市)
お答え

○長崎県は、複数の市町に及び広域性のある被害者等への対応や事業者への行政処分等とともに、長崎県民を対象とした消費者生活相談の処理を行っています。長崎市は、長崎市民からの消費生活相談の処理を行っており、相互に補完している状況です。



メルカつきまち
(消費者センター)

消防施設

道路状況や隣接する消防施設の位置などを考慮したうえで、全市的な観点から効率的に配置を行います。

❖中央消防署については、現在の施設を引き続き適正に管理していきます。

❖蛍茶屋出張所については、当分の間、現在の施設を適切に管理しますが、将来的に道路状況や新設する消防施設の位置などを考慮したうえで、全市的な観点から効率的に配置を行います。



中央消防署



中央消防署
蛍茶屋出張所

文化財 観光施設

指定文化財は、地域の歴史や文化の理解に欠くことのできない重要な財産で、文化財保護法に基づき、保存・継承・活用することが求められています。

観光施設は、設置目的に合わせた展示や体験等の魅力的なサービスを提供することで、観光客が市全体や観光スポットとなるエリアやポイントの魅力を体感したり、理解を深めたりするために設置しています。



出島



心田庵



亀山社中記念館

❁出島、心田庵、亀山社中記念館は、現在の場所で、施設を引き続き適正に維持・管理していきます。

公園施設

公園には、「防災や避難等災害に対応できる機能の確保」、「複合遊具等を活用した魅力的な子どもの遊び場の創出」、「スポーツ等での利用」、「健康づくりのための機能の導入」など、さまざまな要求・要望への対応が求められています。

市内における都市公園の市民1人当たりの標準面積は10平方メートル以上、市街地の市民1人当たりの標準面積は5平方メートル以上とし、都市公園の種類や目的及び誘致距離を勘案し、配置の均衡を図ります。



金比羅公園
(総合公園)

❁片淵・長崎・桜馬場中学校区の公園は、配置や面積の状況等から、ほぼ充足していますので、基本的には現状を維持することとし、公園再整備の際には、社会状況の変化を踏まえながら、公園毎の施設のあり方や機能分担、統廃合等の検討を行い、公園利用者のニーズに合った整備を進めていきたいと考えています。



立山公園
(地区公園)



中島川公園
(近隣公園)



魚の町公園
(近隣公園)



風頭公園
(近隣公園)



片淵近隣公園
(近隣公園)



奥山運動公園
(近隣公園)

(参加者)

主な意見

●公園施設は制約(ボール投げ、自転車乗り禁止など)が多いため、自由に遊べる公園を作っていただきたい。

○公園は基本的に自由に遊べる空間として整備を行っていますが、その利用方法については、地域の皆様のご意見をもとに看板等を作成し、注意喚起等を行っているところです。

(市)
お答え

今後とも、地域の皆様の意向を踏まえながら、可能な限り自由に遊べる公園づくりに努めていきます。

グループで出た意見・質問の発表の様子



市民対話について

この市民対話は、「人口が減ったり、少子高齢化が進んでも、暮らしやすいまち」であり続けるため、公共施設のあり方・使い方について、地域の皆様と行政と一緒に考える場として、地域に必要な機能(行政サービス)を維持していくために、まちづくりにつながる公共施設の見直しについて、地域の声をお聞きし、できる限り、地域の実情にあった施設の見直しを行いたいという主旨から、以下を目的として開催させていただきました。



目的

- ① 公共施設の現状や見直しの必要性について、ご理解いただきたいこと
- ② 行政サービスの方向性や、その拠点の配置についての市の基本的な考え方をもとに、地区内に配置されている「施設の見直しの大きな方向性」について、一緒に考えていただくこと
- ③ 地域に住んでいるからこそわかる実情や問題点を踏まえた、ご意見やご提案をいただき、今後策定予定の地区別計画に反映させること

その中で、たくさんのご意見やご提案をいただきましたので、今後、市の中で検討する際の参考にさせていただきたいと思います。

【講評】（アドバイザー：首都大学東京 都市環境学部 讃岐亮 先生）

- 発表での「出来るところからやるべき」ということと、「やっぱり多いところからやらないといけない」ということは、経営的な視点で考えた時にごもったもなご意見だと感じました。
- この地区の皆さんには経営的視点で鋭いご質問・ご指摘をたくさんいただき、今後市が公共施設マネジメントを進めていくときに、皆さんがきつとよき理解者・指摘者になっていただいで、市に協力してくれる。心強い味方ができたのではないかと感想を抱いています。



3 今後の流れ

市民対話(全2回)



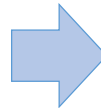
ご意見・ご提案



地区別計画案の策定



皆さんからの
ご意見・ご提案を
参考に
市でとりまとめ



公共施設の地区別計画(案)を策定しましたら、片淵・長崎・桜馬場中学校区の皆さんへ改めてお知らせいたします。たくさんのご意見・ご提案をありがとうございました。



◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室（☎直通：095-829-1412）